

# ベラルーシ公開情報取りまとめ

(2020年4月21日～5月10日)

2020年5月11日

在ベラルーシ大使館

## 【主な出来事】

●対独戦勝75周年の軍事パレード実施(5/9)

●EBRD, 2020年ベラルーシGDP成長率マイナス3.3%と予測(4/22)

●大統領選挙実施日, 8月9日と決定(5/8)

## 【ルカシェンコ大統領動静】

●対独戦勝75周年の軍事パレード実施(5/9)

ルカシェンコ大統領の演説における主な発言概要は以下の通り。

・75年に亘る、勝者の偉大な功績を賛える伝統を変更することは、許容しがたい。しかし、世界において、この場所と日時を非難する人々も出てくるだろう。彼らに「結論を急がないでほしい、我々を非難することも急がないでほしい」と伝えたい。我々には他に選択肢がなかった。仮に選択肢があったとしても、同じことをしたであろう。なぜならば、我々の自由のために亡くなったソ連の兵士や、ゲシュタポの拷問室で苦しんだパルチザンの人々の目が我々を見ているからである。現代のベラルーシは、あの恐ろしい戦争の生ける記憶、生ける記念碑である。

・今年、ミンスクにおける軍事パレードが旧ソ連域内唯一のものである。ロシア人、ベラルーシ人、ウクライナ人、ユダヤ人、タタール人、カザフ人、タジク人、ウズベク人、キルギス人、トルクメン人、ジョージア人、アルメニア人、アゼルバイジャン人、モルドバ人、ラトビア人、リトアニア人、エストニア人、全てのソ連の住民と、欧州における抵抗運動の戦士、我々の同盟国である米国、英国、中国の戦士による偉業に敬意を表す。

・ベラルーシは、生ける盾として侵略者の道に立ちほだかった。ファシズムの撃破に対するベラルーシ国民の貢献には疑いがない。

・しかし、世界は軍事紛争の新たな火種によって緊迫しており、これを背景にナチズムが再興している。戦争と解放者の記念碑が破壊され、ヒトラーの犯罪者達が英雄化され、第二次世界大戦の史実が改ざんさ

れている。

・ベラルーシは平和愛好的で開放的な国である。しかし歴史は、国家間の対話外交は、効果的な安全保障体制なくしては説得力を持たないことを示した。ベラルーシ軍の将兵よ、ソ連の戦争の栄光ある伝統の後継者として行軍せよ。国産の新兵器を示せ。ベラルーシは、偉大なる勝利の追悼に対し忠実であり続ける。勝利は、旧ソ連共和国にとって共通の財産である。

(5/9 大統領府公式ホームページ)

## ●ミルジョエフ・ウズベキスタン大統領と電話会談

両者は、対独戦勝75周年を祝うとともに、経済分野、二国間協力について協議を行った。

(5/8 大統領府公式ホームページ)

## ●ラフモン・タジキスタン大統領と電話会談

両者は、対独戦勝75周年を祝うとともに、二国間関係の現状と、更なる発展、二国間共同プロジェクトの実施について協議した。

(5/8 大統領府公式ホームページ)

## ●プーチン大統領と電話会談

両者は、対独戦勝75周年の行事、統合プロセスの枠内における二国間協力、新型コロナウイルスとの戦いについて協議した。

(5/5 大統領府公式ホームページ)

## ●ドドン・モルドバ大統領と電話会談

両者は、対独戦勝75周年を祝うと共に、新型コロナウイルスの感染状況について協議した。

(5/4 大統領府公式ホームページ)

### ●トカエフ・カザフスタン大統領と電話会談

両者は、対独戦勝 75 周年を祝うと共に、ユーラシア経済委員会ハイレベル会談の準備、新型コロナウイルスとの戦いについて協議した。

(5/4 大統領府公式ホームページ)

### ●国内疫学的状況に関する会議を実施

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

・本日は、勝利の日の行事、国民の健康状況の2つを協議したい。

・戦勝 75 周年の行事は、前もって計画されたものであり、イデオロギー的にも、感情的にも非常に大きな意味を持っている。我々は中止することはできない。

・人々を無理に行事に参加させる必要はない。我々は、健康を大切に人々を理解する。

・ロシアの議員の数々が軍事パレード参加の希望を表明している。我々は、歓迎する。

・国民の健康状況について、肺炎治療に注目する必要がある。肺炎患者数は、今年の 4 ヶ月で昨年同時期対比 40 名～50 名の増加が見られる。我々の保健システムからすれば小さなことに過ぎないが、肺炎は増えている。一年で見れば、例年並みに落ち着くであろう。

・我々がテストをすればするほど、新型コロナ感染者数は増えていく。現在、1 日当たり 9,500～10,000 件の検査を行っており、陽性患者率は約 9%である。

・人工呼吸器の使用率は 10%である。現在人工呼吸器の使用数は 200 超。人工呼吸器総数は 2500 である。

・今年の 4 ヶ月で死亡率は、昨年同時期対比 1.5%減少した。毎四半期 1.5%～2%の減少が継続すれば、年間で 7%の減少となる。

・新型コロナウイルスによる死者は、5 月 2 日時点で 97 名である。この期間、血管不全による死者は 25,000 名であり、ガンによる死者は 64,000 名である。何よりもアルコール中毒で 482 名もの死者が出たことに私は驚いた。そして火災による死者は 218 名、交通事故による死者は 163 名、溺死は 89 名であった。

(5/3 大統領府公式ホームページ)

●外国からの無償支援の活用に関する会議を実施  
ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

・外国からの財務的支援に一定の増加が見られる。直近 3 年の財務支援総額は、約 2 億 4 千万ドルである。我々は、西側パートナーが活発的になっていることを確認する。外国からの資金は、厳格に管理されるべきである。

・1コペイカも、国内の破壊活動に使われてはならない。過去、人道支援の名目で、反体制派に資金が流れていた。私は、海外の支援者が政治活動に人道支援として資金提供することは正しくないと考え、厳格な規則を設けた。人道支援であれば、その支援はチェルノブイリの被害者、スポーツ選手、患者に渡すべきであろう。

(4/30 大統領府公式ホームページ)

### ●ゴメリ州ナラブリャンスキー地区を視察

(4/26 大統領府公式ホームページ)

### ●共和国土曜労働に参加

(4/25 大統領府公式ホームページ)

### ●ナウセダ・リトアニア大統領と電話会談

両者は、二国間経済関係発展、リトアニア・クライペダ港の活用による貨物運送の増加、石油・ガス等の燃料供給源多角化、放射能安全分野における両国の協力、新型コロナウイルスとの戦い、東方パートナーシップについて協議した。

(4/23 ベラパン通信)

### ●バブリスク市を視察

(4/21 大統領府公式ホームページ)

### 【外交】

●マケイ外務大臣、ムナツァカニャン・アルメニア外務大臣と電話会談。

両者は国際機構における相互協力、新型コロナウイ

ルス感染拡大に関する両国民の自国への帰還について協議した。

(5/6 ベラパン通信)

●マケイ外務大臣, チャプトヴィチ・ポーランド外務大臣と電話会談。

両者は、貿易経済における二国間協力の拡大、燃料供給の多角化、新型コロナウイルスとの戦いに関し、協議を行った。

(5/6 ベラパン通信)

●ルカシェンコ大統領, 習近平国家主席へ諸礼の電報送付

電報の内容は以下の通り。

「新型コロナウイルスとの闘いにおけるベラルーシに対する適時の支援に心から感謝する。友好的な中国から受け取った医療用資材や保護用品は我々が新型コロナウイルス感染をより効率的に防ぐことを可能とした。一時的な困難の克服に際する共同の努力は、両国の強い友好と特別な性質を証明し、二国間関係を信頼と忠実によって満たした。」

(5/4 ベルタ通信)

●中国, ベラルーシ向けに16トンの追加人道支援を送付準備。

スノプコフ駐中ベラルーシ大使は、テレビチャンネル「ベラルーシ1」のトークショーにおいて「物資の流れは弱まらない。既に北京からミンスク向けの定期フライトが用意されている。16トンにおよぶ医療用資材、保護用品の送付準備ができている。送付予定の物資には保護マスク、検査キット、人工呼吸器、レベル2・3のマスク製造ラインが含まれている」と発言した。

(5/2 ベルタ通信)

●クラフチェンコ外務次官, ジペルト・ドイツ外務省東欧・カフカス・中央アジア全権代表と電話会談。

両者は、ベラルーシ・EU関係、両国外務省が創設したベラルーシ・ドイツ戦略協議グループの活動について協議した。

(4/29 ベラパン通信)

●マケイ外務大臣, ソーライデ・ノルウェー外務大臣と電話会談。

両者は、新型コロナウイルスとの戦い、貿易経済関係、国連を中心とする国際機構における相互協力について協議した。

(4/29 ベラパン通信)

●マケイ外務大臣, ラブロフ露外務大臣と電話会談  
両者は統合プロセスにおける二国間協力と今後の二国間接触のスケジュールを確認した。

(4/29 ベラパン通信)

●中国からの人道支援到着

本人道支援物資は、中国企業、ベラルーシ企業、組織によって集められた。Wargaming社は、レスピレーター付き医療用マスク30万枚をベラルーシ全州の医療従事者向けに調達した。抗ウイルス薬ファビピラビル(アビガン)、レスピレーター20万個、検査9.6千回分の試薬はエネルギー社が保健省に渡した。

(4/26 ベルタ通信)

●湖北省, 甘肅省, 貴州省, 海南省, 江西省, 北京市, その他中国企業が, ベラルーシへの新型コロナウイルス感染対策人道支援のための物資確保に参加。

4月26日、50トン超の人道支援物資がベラルーシに到着した。本人道支援を含め、中国による新型コロナウイルス感染対策無償支援の総量は、約70トンとなり、19もの中国の州と都市、省庁、企業が人道支援に参加した。

(4/26 ベルタ通信)

●ベラルーシ, 中国から新型コロナウイルス感染対策人道支援を追加受領。

人道支援には、検査キット、医療用マスク、医療用手袋、保護ゴーグル等、総計50トン超の物資が含まれる。人道支援の実施において、ベラルーシ非常事態

省が注文を、同国外務省が中国における物資受取を、同国運輸・交通省が運送を担当した。

(4/25 ベルタ通信)

●閣僚会議、保健システムに関する世銀の融資契約(総額:9千万ドル)に合意

(4/25 ベラパン通信)

●ユーラシア経済同盟政府間評議会、非定例テレビ会議実施(4/23)

加盟国首相の参加の下、ガス輸送サービスの価格決定に関する協議を行ったが、合意に至らなかった。

(4/23 ベラパン通信)

●マケイ外務大臣、クレバ・ウクライナ外務大臣と電話会談(4/22)

両者は、グロドノ市で開催予定の第三回ベラルーシ・ウクライナ地域フォーラムの実施について協議した、またクレバ氏は、マケイ氏をウクライナに招待した。

(4/22 ベラパン通信)

●マケイ外務大臣、ポレル外交安全保障上級代表と新型コロナウイルスの戦いに向けたベラルーシに対する支援に関する電話会談(4/21)

(4/22 ベラパン通信)

## 経済

●ベラルーシ軽工業コンツェルン「ベルレフプロム」、5月にロシアとドイツ向けに保護マスクを輸出する予定。

(5/7 ベラパン通信)

●2020年1月～3月、ベラルーシの農業製品、食料品の輸出高、10%増加。

(5/6 ベラパン通信)

●ベラルーシ経済省、中国商務部、二国間サービス貿易・投資に関する合意締結の共同研究に関する覚書署名。

(5/5 ベルタ通信)

●2020年1月～3月、ミンスク市の貿易高、19%減少。

(5/4 ベラパン通信)

●2020年1月～3月、ベラルーシの貿易高、14%減少。

(5/3 ベラパン通信)

●2020年1月～2月、ベラルーシ・EU間貿易高、16%減少。

(4/29 ベラパン通信)

●ベラルーシ・エネルギー省、ベラルーシは、露国営ガス会社ガスプロムと2020年のガス価格の見直しについて協議を継続していく、と公表。

(4/29 ベラパン通信)

●3月、ミンスク市平均賃金が13.2%上昇

(4/29 ベラパン通信)

●ベラルーシ、サウジアラビアから石油を購入

・テレビチャンネル「ベラルーシ1」は、ベラルーシ石油化学コンツェルン・ベルネフチェヒムを引用して、サウジアラビア国営石油企業サウジアラムコ社が供給者となることを伝えた。

・既に運送途上にあるタンカーは5月11日にクライペダ港(当館注:リトアニア)に到着予定であり、そこから鉄道でベラルーシに輸送される。第一回供給後、今後の協力について決定される。

・4月、ベラルーシは約2百万トンの石油を受け取った。4分の3は、パイプライン輸送と鉄道輸送によるロシアからの供給である。その他は、タンカー供給と自国生産である。

・年始より、ロシア5大石油企業(ロスネフチ、ルクオイル、ガスプロムネフチ、スグルトネフチガス、タネフチ)はプレミアム無しでのベラルーシへの石油供給を

拒否してきた。ベラルーシ政府は、ロシア産石油がロシア国内の税操作により高値となったことから、プレミアムの撤廃を主張してきた。3ヶ月の交渉の後、両国は合意に至った。

(4/29 ベラパン通信)

●**クルトイ第一副首相、新型コロナウイルス克服に向け、20～25億ドルを国外から調達予定と発言。**

クルトイ第一副首相は、テレビチャンネル「ベラルーシ1」のインタビューにおいて、「ベラルーシは、新型コロナウイルスからの回復に向けた財務支援受領のため世銀、IMF、中国開発銀行、EBRD、各国政府と協議している。IMFとは9億ドル、世銀とは3億ドルの資金調達の交渉をしており、国外の債権者からは20～25億ドルの資金の調達を検討している。」と発言した。

(4/26 ベルタ通信)

●**2020年1月～2月、ベラルーシ石油製品の輸出量、昨年同期対比62.4%減少。**

(4/24 ベラパン通信)

●**ベラルーシ・中国共同自動車製造工場「Geely」、生産一時停止を決定。**

新型コロナウイルスの感染拡大を背景とし、中国からの部品調達が困難となっていること、主要市場であるロシアでの販売が困難となっていることから、4月末から5月中旬まで生産を一時停止することを決定した。

(4/23 ベラパン通信)

●**EBRD、2020年ベラルーシGDP成長率マイナス3.3%と予測**

(4/22 ベラパン通信)

## 内政・軍事

●**バプリスクにおける反パレード運動**

Youtube番組「生活のための国」の管理人セルゲイ・チハノフスキー氏が同運動を企画。なお、チハノフスキー氏は、5月6日に逮捕され、15日間の拘留措置を

受けている。9日朝、反パレードを撮影するためバプリスクに向かっていたテレビ局「ベルサト」のオペレーター、アレクサンドル・ポロゼンコ氏が逮捕された他、約15名が逮捕された。

(5/9 Tut.by)

●**大統領選挙実施日、8月9日と決定**

(5/8 ベラパン通信)

●**ベラルーシ外務省、ロシア第一チャンネルの撮影班の資格を剥奪、同チャンネル・アレクセイ・クルチニンを強制退去**

(5/6 ベラパン通信)

●**オストロヴェツ原発第一エネルギーブロックへの燃料運搬完了**

(5/6 ベラパン通信)

●**WHOによるベラルーシに対する公式勧告**

1 ソーシャル・ディスタンス強化

WHOの専門家は、ソーシャル・ディスタンスは、自己隔離ではなく、特に持病を抱える人々や高齢者のために、不要な移動を最大限に削減し、文化・スポーツ・宗教の大規模行事を延期することである、と強調した。さらに、学校や大学で遠隔授業を可能とすべきである。ベラルーシは、これらの勧告を履行していないか、一部のみ履行している。子供たちは、学校に通っており(ただし、自宅に残ることもできる。)、サッカー国内リーグは依然開催されており、聖枝祭や復活祭のため教会は開放されていた。5月9日の戦勝記念パレードの中止決定も未だなされておらず、パレードの準備が継続している。

2 国家によるリスク、勧告、人々の健康、対応方法に関する情報開示

本勧告は、常に履行されている訳ではない。保健省は、4月18日・19日に陽性患者数の増加に関する統計を開示せず、20日になって更新された。

### 3 新型コロナウイルス陽性患者とその接触者への検疫措置

本勧告は履行されている。自己隔離違反に対しては行政責任、他の人に感染させた場合には刑事責任が規定されている。

### 4 基礎的な医療衛生サービス・社会経済支援の継続

本勧告は履行されている。リスクグループに属する高齢者のため、社会福祉職員やボランティアによって食品と薬品の自宅への配送が行われている。

### 5 複数分野間の協力

本勧告も履行されている。保健省では、新型コロナウイルス感染拡大に向けた決定策定のため、各種政府当局の専門家が定期的に会合している。

(4/21 Tut.by)

### ●2020年1月～3月、ミンスク市公共交通機関の乗客数、昨年対減少

2020年1月～3月、ミンスク市におけるバス乗客数は7850万人と昨年同期対比2.4%減少、地下鉄乗客数は1億1910万人と昨年同期対比3.4%減少であった。

(4/17 ベラパン通信)

(了)